

## 子どもたちの声

- ・取材した人の気持ちや目標などを実現させてあげることができたらいいなと思った。（中1男子）
- ・取材から記事作りまでを経験して、記事を作るためにはとても細部までこだわっていることがわかった。それを毎日やっているジャーナリストや新聞社の方々はすごいと思った。池上先生とお話しできたのは、言葉にならない感動だった。（高2女子）
- ・取材活動を通して、復興のためにこんなに頑張っている県内の人がいることに驚いた。パソコンが苦手だったけど、みんなで協力して、なんとか新聞を完成させることができたので、うれしかった。（中2女子）
- ・取材活動を通して、表郷地区の震災時のことや震災後の取り組みや工夫がわかり、大きく変わってきていることがわかった。池上先生の講話では、新聞記事の特徴や注意点がよくわかった。来年も参加できたら生かしたい。（小6女子）
- ・楽市白河という会社の取り組みがわかったので、この会社の取り組みをみんなに伝えたい。編集作業では、難しいことは記者の方々に教えてもらったので、一生懸命作ることができた。楽しかった。（小6男子）
- ・取材活動では、記者の方々は決められた項目を取材するだけでなく、会話をしながら沸いてくる疑問を自然に質問していた。自分も今後には生かしていきたい。池上先生は、小中学生でも理解できる言葉を選んで使っていて、とても勉強されていることがわかった。（高2女子）
- ・僕たちは、3日間かけて新聞を作ることができたのに、編集部の方々は1日で完成させなければいけないので大変だと思った。（小6男子）
- ・取材するとき、取材相手とのコミュニケーションの大切さがわかった。編集作業では、場面にあった色分けがとても大切なことがわかった。（中1女子）
- ・取材活動では、訪問した方々が自分のことだけでなく、次の世代のことも考えて取り組んでおられることに驚いた。池上先生は、上手に話しをつなげたり、話題をどんどん提供してくれたりするので、プロだと思った。（小6女子）
- ・編集では、見出しや文章を一から考えることが難しかった。でも、日本中どこに届けても恥ずかしくないような新聞を作ることができた。面白かった。（小5女子）
- ・福島県の今を知って、復興に向かって頑張っている姿を取材することができて良かった。編集作業では、難しかったけれど班の仲間と協力して活動するのが楽しかった。（小6女子）
- ・福島県民なのに知らなかった福島の震災の様子を知ることができたと思う。普段、部活動を通して紙面作りには携わっているが、新聞関係者の方々に教えていただき、得られることが多くあった。今後には生かしていきたい。（高2女子）
- ・取材を通して、自分が疑問に思ったことはその場で聞くことの大切さを学んだ。編集作業では、相手にわかりやすく説明することの大変さがわかった。（小6男子）